

平成 29 年度

決 算 報 告 書

第 14 期事業年度

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

国立大学法人 高知大学

平成29年度 決算報告書

国立大学法人高知大学
(単位：百万円)

区 分	予算額 (年度計画)	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収 入				
運営費交付金	9,764	9,861	97	(注1)
施設整備費補助金	177	178	1	
補助金等収入	209	225	16	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	37	37	-	
自己収入	19,953	20,908	955	
授業料、入学科及び検定料収入	2,987	2,952	△ 35	(注3)
附属病院収入	16,578	17,406	828	(注4)
財産処分収入	-	23	23	(注5)
雑収入	388	526	139	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,600	1,610	10	(注7)
引当金取崩	142	192	50	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
目的積立金取崩	-	209	209	(注9)
計	31,882	33,219	1,337	
支 出				
業 務 費	28,978	30,033	1,055	(注10)
教育研究経費	13,159	13,045	△ 114	
診療経費	15,819	16,988	1,169	
施設整備費	214	215	1	
補助金等	209	225	16	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,599	1,526	△ 74	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	882	873	△ 9	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	31,882	32,872	990	
収入－支出	-	348	348	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費等が措置されたことにより、予算額に比して決算額が97百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階では予定していなかった入学者数の減少等により予算額に比して決算額が35百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、入院病床稼働率の上昇等により予算額に比して決算額が828百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、予算段階では予定していなかった土地を売却したことにより予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料等の収入増加等により、予算額に比して決算額が139百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算額に比して産学連携等収入が少額であった一方、前年度以前における繰越額の支出の増加等により予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した32百万円を含めて計上しています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が50百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、手術室の設備機器等を充実させたことにより予算額に比して決算額が209百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、予算段階では予定していなかった(注4)及び(注8)等の理由により、予算額に比して決算額が1,169百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注2)の理由により予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)の理由及び寄附金事業費の次年度への繰越額が予定より多額となったことから予算に比して決算額が74百万円少額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した32百万円を含めて計上しています。